

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 王慈福祉会	代表者	理事長 胡谷 直	法人・事業所の 特徴	「こころゆたかに すこやかに」 王慈福祉会は、高齢者・障がい者・児童など、幅広い分野でのサービス提供を行っています。 十王堂おうじでは、各方面と連携し、いつまでもご利用者様が笑顔あふれる一日を過ごして頂けるような支援や提案を行っています。
事業所名	十王堂おうじ	管理者	蓮岡 亮一		

出席者	市町村職員	知見を有する もの	地域住民 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括 支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	0 人	0 人	1 人	0 人	1 人	0 人	2 人	0 人	4 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	- 目標の明確化を続け、分かりやすくし、着実に達成できるようにしていく。 - 方法にこだわらず、全職員のスキルアップを継続する。	- スキルアップに対し、率先した職員の刺激を受けて勤務時間内に協力的に時間を作り、研修に参加する事が出来た。 - 目標の明確化を達成する為目標を細分化した。	- 事業所で出来る柔軟な対応とは何かを教えて欲しい。 - 問題をうやむやにせず、解決への対策を皆で考えていく姿勢はすばらしいと思った。	- 事業所独自の特色とは何かを検討し、柔軟な対応が出来るように事業所の幅を広げる。 - ご家族や周辺状況を把握し、事業所だけではなく、幅広い資源を活用し、問題解決に努める。
B. 事業所の しつらえ・環境	- 整理整頓を定期的に行う事で、清潔感を維持していく。 - 臭いや音の配慮、感染症対策も強化し、安心して快適な環境を継続していく。	60 分間に 10 分間の定期的な換気を行い、感染対策を徹底した。 - 玄関や居室に物を飾ったり花を生けたりし季節を感じられる環境を整備した。	- 換気中はとても寒く感じ、利用者も寒そうだった。 - 春夏秋冬が感じられてよかった。 - こまめな消毒を徹底して欲しい。	- 利用者に配慮した換気対策を検討・実施する。 - 職員の検温の徹底、来訪者の検温などの継続など、感染対策を怠らないよう継続する。
C. 事業所と地域の かかわり	- 挨拶を継続し、日常生活の中でのかかわりを維持していく。 - 新型コロナウイルス蔓延状況が落ち着けば、地域の方との関りの機会を作っていく。	- 自ら率先して挨拶を行う事で近隣の方と日常会話出来る関係が作れた。 - 新型コロナウイルスの影響が落ち着いた際に祭りなどで訪れる事業所に戻った。	- 新型コロナウイルスの影響でかわりが減ってしまったが、落ち着いたらイベントに参加して欲しい。 - 廃品回収等で協力してくれるのはありがたい。	- 事業所で地域に貢献出来る事は何か、新たに地域と関われる事は何かを検討、計画していく。 - 出来ない事ばかりに目を向けるのではなく、現状出来る事に目を向ける視点を持つ。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	・ご利用者と住んでいる地域周辺を散策するなど、個別対応を充実させていく。 ・地域イベントの再開情報を、それぞれの地域の掲示板などを利用し把握する。	・ご利用者の住んでいる地域の方に積極的に挨拶し、意見を伺う事が出来た。 ・地域のイベントを伝え、参加して頂いた。	・本人の自宅周辺を散策し、危険箇所の把握に努めて欲しい。 ・本人だけでなく、近所の方との交流も図って欲しい。	・本人と家族の了承を得て、個人情報やプライバシーに配慮しながら地域との関係性を築いていく。 ・地域イベントを支援センターに聞き情報を把握する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・新型コロナウイルス感染症蔓延状況が落ち着けば、蔓延中の対応で苦労したことなどを伝え、今後に役立てる。 ・新しい形で会議を検討し、非常事態でも情報提供と共有を図っていく。	・新型コロナウイルスは落ち着きつつあるが、会議開催には至っていない。リモートなどの会議も視野に入れている。	・新型コロナウイルス対策をどのように行ったか、感染者が出た場合の対応策を検討し、会議開催の際に聞かせて欲しい。	・事業所だけで支えるのではなく、地域や他事業所の意見を聞きながら支援困難例や事例を挙げしっかり話し合い、事業所改善や見直しを図る。
F. 事業所の 防災・災害対策	・実施方法を検討し、状況にかかわらず継続して訓練を行う。 ・非常時でも事業継続が出来る方法を検討していく。	・法人の防災担当と協力的に訓練出来ている。 ・外部研修に参加し、東日本大震災など経験を生かした防災について学んだ。	・防災について、教えて欲しい。 ・非常時の連絡ツールや避難方法を全職員が把握して欲しい。	・外部研修等に参加する事で、新たな考え方や方法を学ぶ。また、参加出来なかった職員にも介護等で共有し、非常時に落ち着いて行動出来るよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 3月 22日 (17:30～18:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口 古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	2人	0人	11人

前回の改善計画	・書面での情報提供を出来るだけ早くし、ご利用前までに不明点を解消する。 ・情報共有を徹底し、全職員が同じ対応が出来るようにする。 ・職員間で対応方法のアイデアを出し合い、共有し、利用開始時のご不安を軽減できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・書面での情報共有を早めに行ったが実際に利用開始してみないと分からない事が多かった。 ・申し送りの活用方法の見直し、確認欄設ける事によって共有出来ているかの把握ができた。 ・職員間のアイデアとしては、一部の職員の意見に偏ってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	1	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	8	2	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	9	1	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	7	4	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎日ミーティングを行い、その日の注意点を話し合う事が出来ている。 ・ご本人が何を望んでいるかの把握を書面だけでなく聞き取る事が出来た。 ・利用開始前自宅にて少人数の職員がご本人とご家族に会い面談を行い、利用開始当日はその職員が主に対応を行う事で不安の軽減に努めた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・送迎時にご家族に状況を聞く場面で、忙しいご家人の状況を把握出来ておらず負担をかけてしまっていた。 ・ご本人とご家族の思いの相違に悩む事があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・送迎時にご家族に状況を聞くのは簡素な内容にし、具体的に聞きたい時はご家族の都合を聞いてから、話し合いの機会を設けるなどの配慮を行う。 ・ご本人とご家族の意見の相違があった場合は、それぞれの思いや意見を理解し受け止め双方歩み寄れるような提案を行う。 ・利用開始前にご本人に事業所の特色を伝え、柔軟な対応が出来る事を理解して頂く	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年 3月 22日 (17:30～18:30)
------------------	-----	----------------------------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口 古市・山本・堀・池畑・濱田
------------------------	------	------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	8人	3人	0人	11人

前回の改善計画	・経験年数に関わらず、全職員がケアプランの内容や意義を理解する事が出来る環境を整える。 ・ご本人の思いを尊重し、主観的に考えず客観的姿勢を持って理解する。 ・日々のかかわりを細かく記録に残し、情報の共有と意見交換が出来るような環境を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ケアプランの内容を把握する事は出来たが、変更になった内容の把握をあまり行う事が出来なかった。 ・主観的な考えが出た場合は、話し合いの中で見直す事が出来ている。 ・細かい内容を記載した場合、文章が長く内容の把握に時間がかかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	0	6	4	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	6	5	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	7	4	0	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	0	8	3	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・プラン見直し時に会議の場で変更になった事やご本人の思いが変わった事等情報共有出来ている。 ・ご本人の目標を理解し、目標の為にはどのような手段や方法があるかを話し合う事が出来ている。 ・「～したい」事が増えるよう、ご本人としっかり関わりを持つ事が出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「～したい」と思っているが体調不良等でうまく出来なかった場合の代替案を話し合う機会が少なかった。 ・日々関わる中で目標を常に意識している状態ではなかった。 ・これがしたいと発言出来ないご利用者の心の声を聞くのが難しかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・体調不良等で計画を実施出来なかった場合、代替案をご本人に提案し、話し合う機会を設ける。 ・サービス提供の場面で、ご本人の要望を取り入れ、生き生きとした生活を送って頂く。 ・情報共有は継続し、いつ利用しても同じサービスを提供できる環境を維持する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年 3月 22日 (17:30～18:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口 古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	4人	0人	11人

前回の改善計画	・事業所の特性を生かし、以前の暮らしに近い環境で過ごして頂けるような支援を行う。 ・ご本人の発している言葉の裏には何があるかを考えながら支援を行っていく。 ・ご本人の気分や変化に気づき、即座に支援方法を再検討することで、状況に合わせた支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・通い利用はしたいが、他者とは距離を置きたい希望のご利用者に和室を利用して頂き、自宅と変わらないような環境を作った。 ・ご本人の言葉の裏を理解するのに職員間で思いの相違があった。 ・支援方法を話し合って柔軟に状況に合わせた支援を行う事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	4	7	0	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	10	0	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	9	2	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	9	0	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	0	9	2	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・サービス提供時うまくできなかった場合は、なぜなのかを会議の場で話し合い、成功例を伝えることで、対応に活かす事が出来た。 ・体調等状況に合わせ、どこまでは安全に自立支援を行えるか話し合い、具体案を共有出来た。 ・楽しみでもある食事はアレルギーや好き嫌いがある方になるべく配慮して提供している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・入浴時間等ご本人の希望に添いたい、職員配置人数が少ない場合希望に応える事が出来なかった。 ・排泄時間を把握する為記録しようとしたが、記録漏れがあった。 ・静養室は用意してあるが、遠慮されるご利用者への声かけ方法が難しかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・うまく出来なかった事案をうやむやにせず、解決する為の案を出し成功例と失敗例を記録に残す。 ・安全に介護支援出来るよう既往歴を把握し、介助方法の見直しを図る。 ・楽しみである食事は、出来る限りご利用者の思いに寄り添い、嫌いな物は代替し提供する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年 3月 22日 (17:30～18:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口 古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	7人	2人	11人

前回の改善計画	・知人や近隣の方との関りについてご家族とも連携を図り、今まで通りの関係性を継続できるような支援を行っていく。 ・ご本人やご家族と積極的に情報交換を行い、関わっていない時間の状況把握を行う。 ・ご本人に必要な地域資源とは何かを再度検討し、不明なことがあれば、情報収集を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・迎えや訪問時に近隣の方との挨拶は行っているが、個人情報もあり、どこまでの関りを持っていいのかわかっている。 ・休みの時はどのように過ごしていたかご本人やご家族に聞き取る事や書面でのやり取りが出来た。 ・資源について情報収集を行ったが、ご本人に提案する事が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	5	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	7	4	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	7	0	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	8	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・今までの生活通り地域との関係が切れないように手段や方法を考えながら支援出来ている。 ・事業所が直接接していない時間は、家族に書面や口頭で聞き取る事が出来ている。 ・生活スタイルを守るために、ご家族と連携して訪問時間を期間によって増やすなどの支援を行った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・人間関係を理解していてもご本人が現在の状況でそれを望んでいるかわからない。 ・独居の方の場合、事業所が接していない時間の把握が出来なかった。 ・ご本人の生活スタイルを守りたいが、リスクマネジメントを考えるとマイナスな考えになってしまった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・変わりゆくご本人の気持ちに寄り添いながら地域との関係が切れないように支援する。 ・ご本人と関わる中で小さな変化に気付けるよう訪問時や通い時にしっかり観察を行い共有する。 ・ご本人の周辺環境を把握し、新たな発見があれば追記するなどし、常に最新の情報を職員間で共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年 3月 29日 (17:30～18:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口 古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	0人	11人

前回の改善計画	・「小規模多機能の特性やそれを活かした支援とは何か」を全職員が理解し、行動できるように会議で話し合い理解を深める。 ・地域のフォーマル、インフォーマルサービスなどの地域資源を活用したサービス提供を行う。 ・看護職員・介護職員がそれぞれの立場で状況を見極め、チーム全体で支援できる事業所を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	・小規模多機能の特性を話し合う事が出来、新たな発見に繋がった。 ・フォーマルサービスに偏った考えになりがちだった。 ・看護職員出勤時には、看護職員がバイタルチェックを行い介護職員に指示出すよう体制を整えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	7	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	7	1	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	0	10	1	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	10	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご家族との関係が切れないように、ご家族との時間をなるべく作ってもらえるようご家族に相談した。 ・ご本人の変化に気付いた時は書面で残し、閲覧時にチェック項目を設けることで、全職員がチェック出来たか確認する事ができ、共有漏れを防げた。医療面については看護職員が関わるよう勧めた。 ・体調不良時には通いを訪問に切り替え、ご家族との連携を取りながらその時だけでなく生活する上で必要な内容の提案を行えた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員間での話し合いの中で、多方面からのアプローチを検討する過程の中でフォーマルサービスに偏ってしまい、インフォーマルサービスの意見が少なかった。 ・訪問はよいが、通いサービスに抵抗のあるご利用者に対し、必要性を伝えても受け入れられなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ご家族と関係を継続していく為に、家族の負担にならないように話し合いながら、連携していく。 ・状態変化を見落とさず、通いを訪問に切り替えるなど柔軟な対応を行う。その時だけでなくレンタル・環境など安全に生活する上で必要な事柄についても提案する。 ・ご本人に必要な地域資源を行政のホームページや広報など確認し、提案する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年 3月 29日 (17:30～18:30)
6. 連携・協働	メンバー	蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口 古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	0人	11人

前回の改善計画	・地域の方の意見を伺う機会を持ち、どうすれば訪れやすい事業所になるかを明確にする。 ・医療機関などその他のサービス機関と定期的に話し合う機会を持ち、連携を強化する。 ・その他のサービス機関との会議については、今後も現場職員も参加できるように勤務調整等行う
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域の方の意見を伺うにはどのような方法があるか、挨拶以上の関係を築く事が難しかった。 ・医療機関にある地域連携室の方とは定期的に話し合う機会が持てている。 ・その他のサービス機関との会議に現場職員が参加出来たが、一部に偏った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	1	2	7	1	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	3	7	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	0	1	9	1	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	2	7	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・医療機関・訪問看護との連携は毎月伺うのでご利用者を通して出来ている。 ・職員の住所にある地域の町内会に参加しているので、地域資源に関わる情報を伝える事は出来た。 ・防災を通して保育園との交流が出来ている。 ・事業所の雑誌や新聞を子ども会に取りに来てもらい関係作りが切れないように行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・登録者以外の子どもが訪れる事はあるが、以前交流のあった方との機会が減った。 ・不定期で病院受診の際に交流したり、電話で情報提供などを行ったりする事が出来たが、積極的に会議を開催する事は出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・広報紙を作成し、定期的に医療機関やサービス事業所を訪れる関係作りから始める。 ・地域のイベントは何があるか回覧板を通して確認し、参加出来るか問い合わせ、可能なイベントには参加していく。 ・まずは職員の子どもや家族などから事業所に来てもらい、感想や意見をもらい訪れやすい事業所になれるよう改善する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年 3 月 29 日 (17:30～18:30)
7. 運営	メンバー	蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口 古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	3 人	4 人	11 人

前回の改善計画	・事業所外での活動をなぜ行うべきかを一部職員だけでなくチーム全体で考えていく。 ・職員に地域との関わり合いの重要性を再度説明し、どのようにすれば地域の方と協働した運営を行う事が出来るか検討する。 ・苦情や意見があった場合はすぐに全職員で共有し、原因の究明と再発防止策を迅速に検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・事業所外での活動を考えるきっかけになりアイデアを出し合った。 ・アイデアを出し合った結果、個人情報とプライバシー保護の壁に動きが慎重になった。 ・意見があった際は早急に掲示板に張り出し、申し送りにも記載する事で共有し、再発防止に努める事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	7	3	0	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	0	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	2	0	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	1	7	3	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・接遇については委員会を中心に、日々介護上での接し方や疑問を検討するようにしている。 ・研修を通して継続的に学習している。 ・地域からの意見や苦情があればすぐに改善していく体制が整っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所で対応出来ない意見については、どのような伝え方が適切か悩んだ。 ・地域と協働した取り組みを行っているが、毎年の恒例行事でそれ以外では踏み込めていない。	
次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・意見や苦情が出る前に、まずは職員が日頃の生活態度を見直し、地域の方に安心してもらえるような事業所を目指す。 ・ご利用者、ご家族だけでなく、事業所の地域、ご本人が住んでいる地域の方の意見聞くことが出来る体制を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年 3月 29日 (17:30～18:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口 古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	7人	1人	0人	11人

前回の改善計画	・職員それぞれに合ったテーマの研修を受講し、スキルアップにつなげる。 ・WEB研修を継続することで、専門的な研修への参加の機会を維持する。 ・ヒヤリハットや事故報告書などを委員会で分析し、会議や申し送り等で原因や対策を提案する事で、リスクの軽減につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・隙間時間に研修を行う事でスキルアップにつなげる事が出来た。 ・事故報告書に基づき、原因追及を行い、再発防止に努め委員会で話し合った内容を掲示した。 ・接遇委員会が積極的に動いた結果、チーム全体でよい方向に考えられるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	9	2	0	0	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	8	1	0	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	1	10	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	6	2	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・隙間時間を作り、職員間で声を掛け合って研修が出来た。 ・介護に関連する資格を一部職員が取得した。 ・杖を置く位置、トイレ時の歩行器の位置などリスクを考え検討した結果、事故が減少した。 ・研修に参加した職員が会議の場で内容報告と質疑応答を行い、共有することが出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・研修に対する意識がまだ低く、法定研修以外に参加する職員が一部に偏った。 ・個人で資格取得した職員がいたが、高齢者に施術するにはリスクがある事が分かり、実行できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・学ぶ姿勢はなぜ必要なのかを一部職員だけでなくチーム全体で考え、短時間の研修機会を作るなど、継続的に学ぶ場を作る。 ・研修に参加した職員は、会議の場を利用するなど全職員に伝え、事業所全体の質を高める。 ・委員会活動を有効に活用し、各委員会で求められる事やテーマを掲げ検討し、解決に導く。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年 3月 29日 (17:30～18:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口 古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	7人	2人	0人	11人

前回の改善計画	- 言葉遣いや行動などを見つめ直し、ご利用者の気持ちに寄り添った対応を心掛ける。 - マスク着用時には、相手に伝わりやすいように、穏やかにゆっくりした口調で話すことで、強く聞こえないように配慮する。 - 虐待や身体拘束廃止についての研修を継続し、意識の向上に努め、ご利用者の権利を守っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	- 始めの会話は気を付けているが、会話が弾むと言葉遣いが荒くなっていく傾向があった。 - 相手の声量や聞き取り具合に合わせた口調で対応する事が出来た。 - 認知症の方には特に制限する事なく、理由あつての行動だと受け止め寄り添ったサービス提供が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	10	1	0	0	11
②	虐待は行われていない	10	1	0	0	11
③	プライバシーが守られている	2	9	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	8	0	0	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	6	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 身体拘束・虐待とは何かを考えながらの行動が出来ている。 - 国内で起きた虐待事件を確認し、なぜ起きたのかを話し合う事をしている。 - 口頭での申し送りを行う際には、内容が他利用者に伝わらないように、個室を利用するなど配慮している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- ご利用者のプライバシーは守るように配慮しているが、職員のプライバシーに配慮出来ているかは不安な部分があった。 - 換気の間では窓を開けるため、個人名を呼名する場合に配は行っていたが、外に聞こえてしまっていないか不安がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- 虐待や身体拘束に繋がる不適切ケアを減少させるため、職員間で不明な点は言い合える環境を作る。 - 職員の考えや業務を優先せずご利用者の気持ちを理解し、行動における「なぜ」を第一に考えることで、ご利用者の思いに沿ったサービス提供を行う。 - 個人名が書かれている書類等は使用後すぐに見えないように管理できる場所に戻す。	